

川口の教育



【令和5年度 川口の元気 第8回中高生未来を拓くふれあいトーク】

第651号

【目次】

- 指導の手引き 川口市立高等学校におけるスーパーサイエンスハイスクールの取組について
川口市教育局学校教育部指導課 指導主事 柳橋 牧人 ……(2)
- 文化財センターの紹介 いつも料理に!!“ちょい足し”レシピ ～「歴史教室」のご案内～
教育総務部 文化財課 ……(3)
- 私の教育実践 5ラウンドシステムを活用した生徒の「伝えたい」を育てる英語科の授業実践
川口市立十二月田中学校 教諭 早水 久美子 ……(4)
- 令和5年度 埼玉県学校総合体育大会結果（中学校の部）結果 ……(5)～(6)

8 月号

—令和5年—

編集・発行 川口市教育委員会

〈指導の手引き〉



川口市立高等学校における スーパーサイエンスハイスクールの取組について ― 課題研究に着目して ―

川口市教育局学校教育部指導課 指導主事 柳橋 牧人

1 スーパーサイエンスハイスクール (SSH) について

SSHとは、先進的な科学技術、理科・数学教育（以下、「理数系教育」という。）を通して生徒の科学的な能力を培い、将来国際的に活躍しうる科学技術人材の育成を図る文部科学省事業である。

平成14年度より全国的に実施されており、令和4年度の実施校数は217校となった。指定を受けた学校は、理数系教育に関するカリキュラムの研究開発や学校・地域の特色を生かした教育活動を進め、その成果を他の学校に普及させることが求められる。

(1) 指定の経緯と期間

川口市立高等学校は、開校当初から生徒の探究活動を基盤とする課題研究を核とした理数系教育に力を入れており、令和4年3月にSSHとして新規採択を受けた。期間は令和4年度から令和8年度までの5年間で、令和5年度は、I期（全V期）2年目にあたる。

(2) 外部有識者による指導

SSH実施に際しては、大学教授や研究者等の有識者により構成されるSSH運営指導委員会の設置が義務付けられており、年間2回の委員会を通して実施状況への指導・助言が行われる。また、川口市立高等学校では課題研究を中心に運営指導委員会委員をはじめとする外部有識者が生徒に直接指導・助言を行っており、生徒の研究レベルの飛躍的向上に極めて重要な役割を果たしている。

2 川口市立高等学校におけるSSH課題研究の実態

(1) 課題研究について

生徒が自身の興味関心を踏まえて研究テーマを決め、課題解決に取り組む「課題研究」を主に2学年で実施している。研究テーマごとにグループを組み、計画的に研究を進める。

(2) 課題研究の流れ

課題研究を進めるにあたって、研究を円滑かつ効果的に進められるよう、以下のように学習や発表の機会が設定されている。各グループの発表は1学年の生徒も聞いており、発表後には大学教授等の外部有識者も含めた活発な質疑応答が交わされる。

① 課題研究概論

研究テーマの立て方や研究の進め方について専門家による講義を行う。課題研究の質は研究テーマに

大きく左右されるため、第一線の研究者によるこの講義が大変重要となっている。

② 課題研究テーマ発表会

グループごとにブースを設置し、研究テーマを発表する。発表後は質疑応答を行い、教職員や生徒、有識者と議論を重ねながら研究テーマを深めていく。研究テーマを立てる段階から有識者の助言を受けることで、生徒の課題研究の質が向上する。

③ 課題研究中間発表会

課題研究の進捗状況についてそれぞれのグループがプレゼンテーションを行う。ここでも質疑応答や有識者からの助言が行われ、研究の進め方や修正点、要点について理解を深めていく。

④ 課題研究発表会／理数科課題研究ポスター発表会／生徒研究発表会

1年間のまとめとして研究成果の発表を行う。まず、課題研究発表会にてプレゼンテーションを行い、質疑応答を経て自身の研究を振り返りまとめていく。続いて、理数科課題研究ポスター発表会にて各グループがそれぞれのブースに分かれ、研究の成果をまとめたポスターを用いながら英語で発表を行う。

また、3学年次の夏には学校の代表1グループが「SSH生徒研究発表会」に参加し、ポスター発表を通して全国のSSH指定校代表者とその成果を共有する。なお、これら全ての発表について有識者による意見が付され、生徒の科学的能力のさらなる向上が図られる。

3 おわりに

本稿では、外部有識者がSSHの核となる課題研究の質的向上へ果たす役割にふれながら、課題研究の進め方を概観した。SSHの取組としては、この他にも英語で生徒同士相談しながら卵を割らずに4階から落とす方法を考える「エッグドロップ」や、「メダカの骨格標本づくり」など、多様な教育実践が蓄積されているところである。今後は、その成果を他の学校に普及していくことが求められる。特に市内小中学校にSSHの成果を還元することこそ、地域のリーディング校として望まれることであろう。川口市立高等学校SSHを起点とした本市の理数系教育のさらなる発展が期待される。

いつもの料理に!!“ちょい足し”レシピ

教育総務部 文化財課 ～「歴史教室」のご案内～

■1 “ちょい足し”で、 料理の味に深みが増す！

<材料>

- ・いつもの授業準備
- ・歴史教室(適量)



<作り方>

- ① 作りたい授業のねらい・内容を決める。
- ② 資料館職員や実物資料、川口の歴史を“ちょい足し”したい場面を考える。

※明確に決まっていなくてもOK!

- ③ 048-283-3552(郷土資料館)に電話して、①②を相談する。

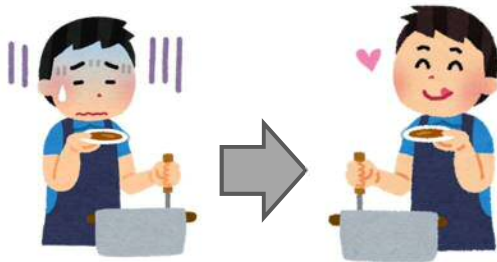
- ④ 『講師派遣依頼書』(A4・1枚)を FAX

- ⑤ 当日、実施する。

- ⑥ 実施後、1週間以内に

『実施報告書』(A4・1枚)を FAX

▶▶▶ 「いつもの授業」を味変したい先生に!



- もっと社会科・歴史を身近に捉えてほしい
- 体験活動や地域の資料がもっとほしい
- 国語の物語文の情景をつかませたい
- 図工・美術の題材に本物を用いたい

■2 いま、利用者が急増中!

◎令和5年度4月～8月中旬までの実績

・「歴史教室」参加児童・生徒数
のべ 11,199名

・「歴史教室」実施校数
小学校 92校 中学校 2校

・川口市教職員研修専門研修「中学校
美術科研修会」講師 8/9(水)

・川口市立小・中学校初任者研修
講師 8/22(火)

・8月下旬以降、実施予定 51校

※『講師派遣依頼書』を提出済みの学校数

■3 これから希望する先生方へ

・【11月中旬以降】は、まだ空きがあります。

・大好評につき、**現在、実施計画**中!

小4「オンライン社会科見学(見沼)」11月末～12月

小6「オンライン歴史教室(戦時中の川口)」11月末

※案内文書の発送をお待ちください。

ご相談のお電話は、
文化財課 学校連携担当
TEL 048-283-3552
FAX 048-283-3595
郷土資料館・井出まで



1 はじめに

従来の講義的授業では、生徒は「本時の文法」を学び、それを使ったパターンプラクティスを繰り返すスタイルが定番であった。しかし、私たちが言語を使用する時には、コミュニケーションにおける目的・場面・状況によって、自分が伝えたいことを相手に適切に伝える表現を、知識と経験から判断して、選択している。そこで、私は、授業が【英語を使ってコミュニケーションを積み重ねる経験の場】【自身の本当の考えや思いを英語で伝える場】となる機会を様々な方法で取り入れることにした。また、ラウンドシステム(※)の活用によって積み重ねた良質なインプットが、生徒の「伝えたい」を叶える基礎力の構築に繋がっていることにも焦点をあて、実践の一端を述べる。

※教科書のストーリー（全単元がひと続きの物語となっている）を年間で5巡（5ラウンド）繰り返し聞いたり、読んだりする学習方法。ラウンドごとに学習の目標を変えながら、ストーリーを通して英語表現をインプットする。（例えば、子供が絵本のストーリーを聞いたり、読んだりする中で言葉を習得していくような過程に近い。）

2 「伝えたい」を形にするスモールトーク

毎時間取り入れている帯活動の一つに、“Small Talk”がある。日本語で言うところの「雑談」である。テーマを1つ設けるが、会話の流れにより、そのテーマから外れても良いことにしている。この時、教師が使用する表現を明示してしまうと、生徒は英文をただ読み上げる活動となってしまいうため、イラストやテーマの提示のみに留めている。

中学1年 スモールトーク時の提示イラスト



1 ペアあたり3分間程度の会話をさせているが、私が3年間を通して生徒に伝えていることは、相槌と疑問詞を使った質問の活用により、会話を自然な流れで継続することである。また、同じテーマで、複数の相手と会話することで、流暢さが増したり、前回の相手との会話で得た表現を使って、新たな英会話に挑戦できたりすることも、スモールトークの魅力である。

3 ラウンドシステムによる良質なインプット

ラウンドシステムにより、教科書本文のストーリーを聞く回数、読む回数が飛躍的に増加し、生徒は、言語を使用する目的・場面・状況を理解した上で、英語表現をインプットすることが可能となった。これにより、教科書の登場人物が繰り返し広がる場面と、生徒の実生活における場面が重なった時、蓄積した知識を取り出して、即興でアウトプットすることが容易となる。例えば、1学年の生徒たちが自己紹介をするとき、“My name is ...”ではなく、“Call me ...”という表現を使うことが多かった。これは、教科書のストーリーの中で、登場人物の光太郎が、“Call me Kota.”と言って、自己紹介をしていたためである。このように、言語を使用する場面・状況を理解した上で、本文を暗記するほど読み込むことで、実際の場面で英語をアウトプットできる良質なインプットとしていくことが期待できる。

4 「伝えたい」を叶える実践の場

スモールトークで培った英語能力を発揮する場として、英語で手紙を書いて海外へ送る活動を行った。（サマースクール）その後、相手から届いた返事を、どの生徒も一生懸命に訳しながら読み、内容を理解しようとする姿を見て、実践的な経験に大きな価値があることが分かった。今後も多くの生徒たちが、より実践的な経験を積むことができるよう、様々な工夫をしていきたい。

5 おわりに

近年、英語教育は大きな変化を迎えている。社会の動きや生徒の成長に合わせ、様々な工夫や活動を取り入れ、試行錯誤の日々である。今後も、生徒たちから発せられる「伝えたい」という気持ちの火を絶やさぬよう、精進していく所存である。

令和5年度 埼玉県学校総合体育大会(中学校の部)結果

※一部抜粋

県大会 7月15日～ 8月2日

競技種目	県大会 結果 (抜粋)	
	(○印 関東大会出場 ◎印 全国大会出場)	
	男子	女子
軟式野球	ベスト16 東 2回戦敗退 戸塚西 2回戦敗退 領家	
サッカー	3回戦敗退 北 3回戦敗退 南 2回戦敗退 西	
ソフトボール		1回戦敗退 鳩ヶ谷 1回戦敗退 八幡木
ソフトテニス (団体)	優勝 上青木◎○ 第3位 芝東○ 2回戦敗退 里	第3位 芝東◎○ 第4位 上青木◎○ ベスト16 戸塚西 1回戦敗退 西
ソフトテニス (個人)	優勝 館田・金内(上青木)◎○ 準優勝 山里・奥田(上青木)○ 第5位 木原・桐山(上青木)○ 第7位 村田・吉澤(上青木)◎○ 第8位 江口・川嶋(上青木)○ ベスト16 和田・森島(上青木) ベスト16 池田・小吉(上青木)	優勝 柳川・石田(芝東)◎○ 第5位 市村・小林(上青木)◎○ 第6位 金野・木村(芝東)◎○ 第8位 小野寺・都竹(上青木)○ ベスト16 平井・坂井(芝東) ベスト16 内田・原田(芝東) ベスト16 前原・小池(上青木)
バスケットボール	ベスト16 榛松 ベスト16 八幡木 2回戦敗退 神根	ベスト16 榛松 ベスト16 戸塚 ベスト16 東
バレーボール	ベスト8 戸塚西 ベスト8 南 ベスト16 青木 1回戦敗退 西	2回戦敗退 東 1回戦敗退 神根 1回戦敗退 幸並
卓球 (団体)	2回戦敗退 岸川 1回戦敗退 上青木	第5位 南○ 2回戦敗退 戸塚西 1回戦敗退 在家
卓球 (シングルス)	2回戦敗退 土屋(鳩ヶ谷) 2回戦敗退 三浦(岸川)、田辺(岸川)、佐藤(仲町) 1回戦敗退 妹尾(青木)	3回戦敗退 石郷岡(南) 2回戦敗退 田熊(八幡木)、柴咲(南)、沼田(南) 1回戦敗退 澤邊(在家)
卓球 (ダブルス)	ベスト16 波多野・小林(岸川) 3回戦敗退 福留・呉(戸塚西) 2回戦敗退 鈴木・平澤(北)、徳永・高橋(仲町) 1回戦敗退 五十嵐・韓(仲町)	ベスト16 田中愛・渡会(南) 3回戦敗退 渡邊・水野(在家)、犬木・天野(十二月田) 2回戦敗退 宮城・田中虹(南)、村越・日暮(十二月田)
ハンドボール	優勝 戸塚○ ベスト8 十二月田 ベスト16 戸塚西 ベスト16 神根 1回戦敗退 東、榛松	優勝 戸塚◎○ 第3位 戸塚西 第3位 十二月田 ベスト16 東 1回戦敗退 神根、榛松
バドミントン (団体)	ベスト16 芝 ベスト16 北 2回戦敗退 岸川	2回戦敗退 八幡木 1回戦敗退 岸川
バドミントン (シングルス)	2回戦敗退 光部(戸塚)、歸山(北)、野村(北) 1回戦敗退 小芝(岸川)、大内(岸川)	3回戦敗退 小原(八幡木)、平木(八幡木) 1回戦敗退 小松(北)
バドミントン (ダブルス)	3回戦敗退 上田・小芝(岸川) 2回戦敗退 辻田・大島(岸川)、堀内・高橋(芝) 野村・歸山(北) 1回戦敗退 光部・島村(戸塚)	ベスト16 平木・小原(八幡木) 1回戦敗退 小松・中島(北)、大森・大澤(八幡木)
体操競技 (団体)	第7位 芝西 第8位 戸塚西	第9位 芝西 第11位 戸塚西
体操競技 (個人)	第6位 坂井(安行) 第15位 小川(八幡木) 第21位 伊藤(芝東) 第62位 高崎(芝西) 第64位 星(芝西)	第11位 河野(青木) 第69位 土田(芝西) 第73位 熊木(芝西) 第75位 岡崎(芝西) 第76位 中川(芝西)

令和5年度 埼玉県学校総合体育大会(中学校の部)結果

※一部抜粋

県大会 7月15日～8月2日

競技種目	県大会結果(抜粋)	
	(○印 関東大会出場 ◎印 全国大会出場)	
	男子	女子
新体操 (団体)	優勝 戸塚西◎○ 準優勝 芝西◎○ 第6位 吉村(戸塚西) 第8位 相澤(戸塚西) 第10位 細川(芝西) 第11位 渡辺(戸塚西) 第15位 秋山(戸塚西) 第17位 大塚(戸塚西) 第21位 尾田(戸塚西) 第29位 藤江(南)	
新体操 (個人)		
柔道 (団体)	第3位 西○ ベスト8 上青木 ベスト16 戸塚、芝東 2回戦敗退 十二月田	優勝 西◎○ 第3位 YAWARA 1回戦敗退 安行、芝東
柔道 (個人)	優勝 宇井(西)60kg級◎○ 準優勝 工藤(西)90kg級○ 第3位 栗栖(西)81kg級○ ベスト4 小林(上青木)90kg超級 ベスト8 矢吹(西)50kg級 ベスト8 田村(戸塚)50kg級 ベスト8 中納(戸塚)60kg級 ベスト8 栗栖(西)73kg級 ベスト8 森脇(北)81kg級 ベスト8 堀口(戸塚)81kg級 ベスト8 伊藤(上青木)90kg超級	優勝 中山(西)40kg級◎○ 優勝 桐原(YAWARA)48kg級◎○ 優勝 大西(西)63kg級◎○ 優勝 直塚(西)70kg超級◎○ 準優勝 鈴木(西)48kg級○ 第3位 桐原(YAWARA)40kg級 第3位 照井(西)57kg級 ベスト8 西村(YAWARA)48kg級 ベスト8 宮田(芝東)52kg級
剣道 (団体)	第3位 北○ 2回戦敗退 上青木 2回戦敗退 幸並	ベスト16 在家 2回戦敗退 十二月田 2回戦敗退 南
剣道 (個人)	ベスト16 上野(北)、松本(北) 4回戦敗退 齋藤颯(北)、齋藤啓(北) 2回戦敗退 前田(北)、江口(安行)、沼口(青木) 2回戦敗退 小川(在家)、関(幸並)、杉崎(幸並) 1回戦敗退 吉川(十二月田)、熊谷(青木)	4回戦敗退 吉田(南) 3回戦敗退 大江(上青木)、内野(青木) 2回戦敗退 中山(神根)、上甲(北)、石橋(在家) 2回戦敗退 荒木(十二月田)、曾根(十二月田) 1回戦敗退 中山(神根)、齋藤(安行東)、馬場(青木) 上野(十二月田)
陸上競技	準優勝 脇(里)2年100m○ 第3位 小林(岸川)走幅跳○ 第8位 池浦(上青木)3年100m◎○ 標準記録突破 郷久(安行)800m◎○、小笠原(芝東)1500m◎○ 第8位 吉田(附属)3000m	第3位 永井(戸塚西)1500m○ 第4位 白岩(上青木)200m 第5位 長谷川(戸塚)200m 第5位 大塚(青木)3年100m 第7位 芝東400mリレー
水泳競技	準優勝・第6位 長田(南)1500m自由形○・400m自由形○ 第7位 青木(榛松)200mバタフライ○ 第6位 川端(戸塚)1500m自由形	優勝・優勝 高山(上青木)200m個人メドレー◎・400m個人メドレー◎ 優勝・準優勝 菅(幸並)400m自由形◎・400m個人メドレー◎ 第3位・第3位 由本(南)100mバタフライ○・200mバタフライ○ 第6位・第6位 堀川(上青木)100m背泳ぎ○・200m背泳ぎ○ 第6位 杉本(鳩ヶ谷)200m個人メドレー○ 第8位 長部(東)100m平泳ぎ○
テニス (団体)	優勝 青木○ ベスト8 小谷場	1回戦敗退 小谷場
テニス (シングルス)	1回戦敗退 飯塚(青木)	優勝 島村(十二月田)○ 1回戦敗退 扇本(小谷場)
テニス (ダブルス)	ベスト8 森口・金(南)○ ベスト8 水野・島田(青木) ベスト8 白鳥・三浦(青木) ベスト16 仁島・生井(青木) 1回戦敗退 大嶋・瀧上(青木)	ベスト16 水野・高橋(青木)